

平成30年度(2018年度)

管理事業名	農業振興事業				総合計画の体系	第7章 第1節	活力あふれにぎわいのあるまちづくり 地域の特性を生かした産業の振興		
主な歳出 予算科目	一般会計	(款) 6	農業費	(項) 1	農業費	(目) 2	農業総務費		
部局名	都市魅力部	予算執行所属		地域経済振興室					
予算大事業名 一般事務事業 大阪府農業共済組合負担金事業		上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名 (款)農業費 (項)農業費 (目)農業振興費 市民農園関係事業 花とみどりふれあい農園事業 農作業体験事業 地産地消の推進事業							
<b>事業の目的と概要</b> ・農地の有効活用のために市民農園を開設する農家に対して、補助金を交付するとともに農園利用者への栽培講習会を開催します。 ・市民が花とみどりにふれあえる場を提供することを目的とし、農家に草花の栽培を奨励するため、栽培を行う農家に花の種子を配付し開花状況に応じて助成金を交付します。 ・市民の農業・農地に対する理解を深めるため、水稲やさつまいも等の農作物の作付から収穫までを体験する事業を実施します。 ・吹田市産農作物の地元での消費の推進を図るため、産業フェアや朝市等のイベントで、特産品の「吹田くわい」や地場野菜等の販売を行います。また、特産品の栽培奨励のための助成金を交付します。									

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	成果指標の定義
景観形成作物の開花面積	m <sup>2</sup>	49,064	45,419	40,827	農家によって栽培された、市内農地の景観形成作物の開花面積
農作業体験事業	人	108	99	129	農作業体験「ふれ愛農園」の参加者数
成果の説明	景観形成作物の栽培については、農家の高齢化や農地の減少が進んでいますが、継続的に取り組んでいる農家も多く、そこで栽培される「花の観賞会」にも多くの市民の申し込みがあります。また、農作業体験事業への参加者数については、事業を実施している田畑の面積による制約により、参加者数を制限しているため横ばいですが、根強い人気があり、農業・農地に対する理解の醸成に役立っています。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	平成28年度	平成29年度 A	平成30年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	-	-	-	-
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
<b>府支出金(経常費用充当)</b>	<b>1,093</b>	<b>1,125</b>	<b>799</b>	<b>△326</b>
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	1,773	257	344	86
経常収入 小計(a)	2,866	1,382	1,143	△240
<b>給与関係費</b>	<b>24,592</b>	<b>24,423</b>	<b>24,022</b>	<b>△401</b>
物件費	1,530	1,490	1,460	△30
維持補修費	-	-	-	-
社会保障扶助費	-	-	-	-
<b>負担金・補助金・交付金等</b>	<b>3,480</b>	<b>3,369</b>	<b>3,217</b>	<b>△152</b>
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	-	-	-	-
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	1,483	1,504	1,567	64
退職手当引当金繰入額	1,198	1,119	1,351	231
支払利息	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	32,283	31,905	31,617	△288
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△29,417	△30,523	△30,475	48
特別収入	-	-	-	-
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
特別費用	-	-	-	-
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△29,417	△30,523	△30,475	48
一般財源充当額	29,770	30,999	30,734	△265
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	353	476	259	△217

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
府支出金(経常費用充当)	経営所得安定対策等推進事業補助金 729千円 大阪版地方分権推進制度による移譲事務交付金 70千円
給与関係費	職員人件費、非常勤職員報酬、臨時雇用員賃金
負担金・補助金・交付金等	市民農園関係事業に係る補助金 1,800千円 大阪府農業共済組合負担金 642千円 花とみどりふれあい農園推進事業助成金 500千円 ほか

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表 (単位:千円)

区分	平成28年度	平成29年度 A	平成30年度 B	差額 B-A
<b>行政サービス活動収入</b>	<b>2,866</b>	<b>1,382</b>	<b>1,143</b>	<b>△240</b>
行政サービス活動支出	32,636	32,381	31,877	△505
行政サービス活動収支差額	△29,770	△30,999	△30,734	265
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	-	-	-	-
投資活動収支差額	-	-	-	-
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	-	-	-	-
財務活動収支差額	-	-	-	-
収支差額 合計	△29,770	△30,999	△30,734	265
一般財源充当額	29,770	30,999	30,734	△265
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の主な内容	(行政サービス活動収入) 経営所得安定対策等推進事業費補助金 729千円
----------	---

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
市民1人あたりのコスト	平成28年度	369,522 人	87 円	市民1人あたり、85円のコストがかかっています。(平成31年3月31日現在の吹田市の人口で算出しています)
	平成29年度	370,072 人	86 円	
	平成30年度	371,030 人	85 円	
	平成28年度		円	
	平成29年度		円	
	平成30年度		円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	平成29年度末 A	平成30年度末 B	差額 B-A	勘定科目	平成29年度末 A	平成30年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	1,504	1,567	64
未収金	-	-	-	地方債	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	短期借入金	-	-	-
短期貸付金	-	-	-	賞与引当金	1,504	1,567	64
徴収不能引当金	-	-	-	未払金	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
有形固定資産	258,726	258,726	-	その他流動負債	-	-	-
土地	258,726	258,726	-	固定負債	16,276	15,953	△323
建物・工作物	-	-	-	地方債	-	-	-
リース資産	-	-	-	長期借入金	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	退職手当引当金	16,276	15,953	△323
無形固定資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
インフラ資産	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
土地	-	-	-	負債の部合計	17,780	17,521	△259
建物・工作物	-	-	-	純資産	240,946	241,206	259
建設仮勘定	-	-	-				
重要物品	-	-	-				
図書館資料	-	-	-				
投資その他の資産	-	-	-	純資産の部合計	240,946	241,206	259
出資金	-	-	-				
長期貸付金	-	-	-	負債及び純資産の部合計	258,726	258,726	-
基金	-	-	-				
徴収不能引当金	-	-	-				
その他債権	-	-	-				
資産の部合計	258,726	258,726	-				

Ⅲ 財務構造分析

▽人にかかるコストの内訳

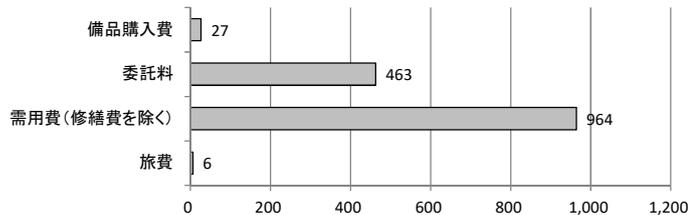
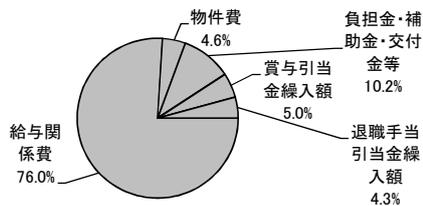
事業従事人数	常勤・再任用	非常勤	臨時雇用員	審議会委員等	合計(千円)
	月平均	月平均	年間従事延日数	実人数	
	2.4人	1人	101日		26,940
給与関係費等	21,964千円	4,090千円	887千円		
内、時間外勤務手当	1,775千円				

貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由
土地	農作業体験用農地 吹田市千里山東4丁目 1,289.48㎡

▽経常費用の構成割合

物件費の内訳(単位:千円)



▽分析指標

(単位:%)

分析指標	年度	平成28年度	平成29年度 A	平成30年度 B	差 B-A
受益者負担比率		-	-	-	-
徴収不能引当率		-	-	-	-
一般財源充当比率		91.2	95.7	96.4	0.7

▽その他特記事項

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

経常費用の主なものは、給与関係費24,022千円(76.0%)、負担金・補助金・交付金等3,217千円(10.2%)、物件費1,460千円(4.6%)です。負担金・補助金・交付金等については、市民農園関係事業に係る補助金、花とみどりふれあい農園推進事業助成金、大阪府農業共済組合負担金などが主な内訳です。物件費については、農作業体験事業に係る委託料や地産地消の推進事業に係る需用費などで構成されています。事業の財源は大半が一般財源であり、特定財源は、農作業体験事業の参加者から徴収する参加費と、農業普及指導員(非常勤職員)及び臨時雇用員雇用保険料本人負担分です。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

本市は全域市街化区域のため、都市部に農地が点在しており、住宅地と隣接していることから、農業散布、農業用水の確保などが困難で農業経営には厳しい環境となっています。しかし、食育にかかる農作業体験事業、安心、安全な農産物を身近で求める市民ニーズに合致した地産地消の推進事業、また農地保全にかかる市民農園関係事業や花とみどりふれあい農園事業など、都市部の農地の多面的機能を活用する農業振興事業は、必要な事業と考えます。今後、生産緑地法の改正に伴い農地のさらなる減少も予想されますが、市民の農業・農地に対する理解の醸成に努め、農業振興関連施策を継続してまいります。